

建災防栃木県支部の安全指導者研修において、「建設現場における送検事例、法令遵守に対する改善指導の要点等」について説明をしました。



(研修開催にあたっての建災防栃木県支部の挨拶)



(西本監督課長からの説明)

平成26年3月7日(金)に栃木県建設産業会館において建災防栃木県支部主催の安全指導者研修が開催されました。

建災防栃木支部から建設現場における労働災害防止のための安全管理の重要性について話をして欲しいとの依頼を受け、栃木労働局から講師として西本監督課長が出席しました。当日は、建設現場で安全管理を行う安全管理者の皆様が出席されました。

西本監督課長から栃木県内における建設現場における死傷災害の状況、事故の型や起因物の傾向、建設業の労働災害の増加が懸念される背景、労働災害を発生させた場合のデメリット、建設業における監督指導の状況、元方事業者等の講ずるべき措置、労働安全衛生法違反事例、労災かくしを行わないこと等を中心に説明をしました。

建設業では高所作業等危険な作業があるため、墜落、転落災害が発生し、死亡事故等重篤な災害につながるケースが見られます。労働災害防止のためには、作業員一人一人が自分の命を自分で守る意識を高めることの必要性・重要性や元請・下請の間の協力が不可欠であることが前提であって、そのために労働安全衛生法等の法令を守ることが必要であり、それらが相まって労働災害の抑制につながることにについて話をしました。

栃木労働局では、今後とも建設業における労働災害防止に努めてまいります。